

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立明和中学校

作成日

令和4年2月5日

1 教育目標

人間尊重の精神を基本にして、知・徳・体の調和のある生徒の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	指導の工夫・改善と総合的な学力向上をめざす、本校の「明和中学校授業づくり」のさらなる充実において、学校評価アンケートでの「授業が楽しい」「学習内容がよくわかる」が8割以上に。	学級づくりを通し、自分と仲間を大切にし、よりよく生きていく力の育成で、学校評価のアンケートの「私は、思いやりや優しさの気持ちを大切にしている。」という項目が95%という値である。意識としては、大切さをはっきり押さえていく。	保健体育教育の工夫・改善による心と体の調和的育成で、体育の実技授業の意欲・態度観点A評価を半数以上に。	開放月間時の行事や授業公開による地域への取組の充実で、学校評価アンケートにおいて7割以上の肯定的評価。
重点目標に対する	○指導の工夫・改善と総合的な学力向上をめざす『明和中学校授業づくり』のさらなる充実を進める。	○学級づくりを通し、自分と仲間を大切にし、よりよく生きていく力をつけていく。 ○道徳教育の充実を強く進めていく。	○健康安全教育の充実 基本的な生活習慣の確立を進めていく。 ○部活動の充実をはかる。	○本年度コロナウイルス感染症にため、学校行事が縮小、中止にとなり地域への啓発活動が行われていない。 ○地域での体験活動への参加も難しい状況であった。
取組状況に対する	○学力向上のために、いろいろな活動や補習、質問タイム等取り組んでいるが、成果と言えるほどのものがないので工夫・改善の必要性がある。 ○授業づくりを大切にし、誰もが学習したくなる環境をつくる。 ○板書活動など基礎的な活動を定着させる。	○学校は大変な状況の中、学習や行事等に効果的な取り組みをしているが保護者、地域の協力も必要である。 ○中学生になると学校での出来事をあまり話さなくなり学校での活動状況がわからない家庭もある。	○思春期にみられる心と体のアンバランスさの道理を学ばせ、心と体の調和的発達を促す取り組みが必要である。	○学校からのプリントが保護者まで渡ってこない家庭もあるので、ホームページ等でもっと学校の様子を伝える必要がある。
取組の適切性の検証結果	○学校評価アンケートから、わかる授業・授業の工夫の評価が低いことを重く受けとめる。 ○生徒の学習意欲や学習習慣、学習環境も大切な要因なので、関連付けながら検証していかないといけない。	○学校評価アンケートから、生徒の多くが、楽しく学校生活を送れていることがうかがえる。 ○いじめ防止や共に生きる大切さ、将来の進路や生き方についても8割以上である。いじめ防止や学級づくりを常に意識した取り組みを継続していく。	○保健だよりを毎月配付し、保健委員会と協力して各種啓発のポスターを掲示するなどの活動はわかりやすい。	○学校評価アンケートから、学校行事が充実していることがよくわかる。 ○学校の取組も大切だが、保護者の協力も必要。高校の保護者は熱心だと聞くが、公立中学校の保護者には幅がある。啓発を促していきたい。
改善年度法にむけての意見	○昨年度から取り組みを継続している授業改善が成果につながることを期待し、生徒の学力向上のために、これからも授業づくり研修を継続してもらいたい。 ○基礎的な学習部分の定着がひとつである。	○中学生は、自立心や責任感を育むために、できるだけ手はかけずに導く方がよい。目はかけないといけない。その点については、学校だけでなく、保護者の協力も必要である。 ○子どもたちが社会で生きていくために必要な力を見極め、豊かな心を育てる学校教育を進めていく必要がある。	○生徒の体力の向上、さらには日常生活への自身の健康に向かう力を身につけさせていくことが大切にしてほしい。それにより授業の様子も変わってくると考える。	○仕事を持っている保護者が多いので、学校行事や参観日等の日程については、早めに案内する必要がある。 ○4月時点でのおおまかな年間行事予定を保護者に伝え、行事等の都合をつけやすくなる。

3 その他のご意見